

第 15 回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第 15 回会合の日時・出席者・概要等については、以下に示すとおりである。

日 時：2016（平成 28）年 3 月 1 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：神戸大学六甲台本館 3 階大会議室

出席者：

アドバイザー・ボード委員（五十音順，敬称略）

加護野忠男，川上智子，北幸二，佐伯剛，保母拓一朗，吉井満隆

研究科教員

國部克彦，松尾博文，栗木契，上林憲雄，藤原賢哉，鈴木一水，鈴木竜太，
清水泰洋，高橋潔，南知恵子，黄磷

最初に，國部研究科長より，「神戸大学の現状と経営学研究科の現状と課題」と題して，大学全体と研究科についての最近の状況についての説明があった。神戸大学全体の状況に関しては，2015 年 4 月に武田廣氏が学長に就任して以降の改革の動向について説明があり，特に，世界最先端の教育研究大学を目指すという基本ビジョンが示されたこと，そのビジョンのもとで 5 つの戦略を定めて大学運営が進められていることが説明された。2015 年度の神戸大学に対する文部科学省の評価は高く，国立大学のカテゴリー 3 の 16 大学の中で予算の増加額が比率ベースで最高のトップ 3 校の一つに入ったことが報告された。

研究科としては，神戸大学のビジョンを受けて，経営学研究科のビジョンを策定したことが説明され，経営学研究科としては，経営学における世界最先端の研究教育機関を目指すとともに，オープンアカデミズムの伝統の下で研究に基礎おいた教育を進め，研究成果を社会に還元していく方針が示された。この 2 つの目的をどのように推進するかが最大の課題であることが説明された。また，全学の指示で進めている経営学研究科の指標化や第三期の目標などが報告された。

続いて，松尾博文教授から，SESAMI/GMAPs についての説明があった。今年から，SESAMI プログラムが，大学の機能強化の一環として，法学研究科，経済学研究科と共同で行う GMAPs の一つになったことが報告され，一層の充実が図られていることが示された。さらに来年度からは，KIBER と連携して，5 年で修士号のとれる KIMERA プログラムを立ち上げる内容が説明された。

最後に栗木 MBA 教務委員から，2015（平成 27）年度の神戸大学 MBA の新たな取り組みが説明された。主な内容は，①ホームページのリニューアル，②神戸大学グローバル新時代ビジネスシンポジウムの開催，『人生が変わる MBA』（有斐閣）の出版，③修士論文の指導強化，オープン化，④神戸大学 MBA 公開セミナーの開催，⑤神戸大学 MBA 人材構想委員会の

発足などの説明があった。